

NEW

● Visual Studio.NET/.NET Framework関連ツール新製品レビュー ●

PRODUCTS



UltraWebSuite for .NET 1.0J

デザイン性に富んだWebフォームの作成を可能にするコンポーネント集

精進湖計算機
立中 秀樹
TATENAKA, Hideki

動作OS Windows 2000/XP 対応開発環境 Visual Studio .NET

備考 Internet Information Services 5.0 (サーバー環境)、HTML3.2/4.0に準拠したブラウザ (クライアント環境)

価格 78,000円 (税別、ダウンロード価格)、98,000円 (税別、パッケージ価格)

問合せ グレープシティ株式会社

TEL 022-373-0360 URL <http://www.grapecity.com/>

FAX 022-373-1625 MAIL sales@grapecity.com

はじめに

異常に暑かった夏もやっと終わりに近づいてきました。冬よりは夏のほうが好きな筆者ですが、今年は辛かった…。うちのライオンマークの車に付けている車外温度計は、対応しきれないのか48℃なんて数字を表示し、しまいには表示不可能になってしまいました。

さて、涼しくなってきたところで、秋の夜長はプログラミングとゆきましよう。.NET対応の新しいツールも続々と出てきました。

今回紹介するのはコンポーネント供

給の老舗、グレープシティ株式会社のPowerToolsシリーズに新しく加わった「UltraWebSuite for .NET 1.0J」です。

この製品は「UltraWebBars for .NET」と「UltraWebNavigator for .NET」をセットにしたサーバーサイドWebフォームコンポーネント集です。

PowerToolsシリーズが.NET対応となり、Webフォーム用のコンポーネントが追加されたことで自由度の高いサーバーサイドアプリケーションが簡単に作成できるようになりました。サードパーティー製のコンポーネントも発売されて、いよいよVisual Basicプログ

ラマがWebの世界を席卷する日も近そうですね。期待して内容をチェックしてみましよう。

コンポーネント一覧

まず、製品に含まれているコンポーネントを表1にあげておきます。

この他に、UltraWebNavigator for .NETのコントロールをビジュアルに設計できるデザインツール「UltraNav Studio」が付属します。

インストール

インストールは通常のアプリケーションと同様に、セットアッププログラムを実行することで行ないます。最近の同社製品の例にもれず、この製品もライセンス認証が必要になります。ライセンス認証はプロダクトキーを入力すればインターネットを通してすぐに行なうことが可能です。インターネットに接続していないPCの場合は、インターネットに接続した他のPCから認証

本稿で使用した環境

O S | Windows XP Professional
開発環境 | Visual Studio.NET Enterprise Developer
C P U | Athlon 750MHz
メモリ | 512MB
その他 | Internet Information Services 5.1

本記事で解説したサンプルプログラムは、付録CD-ROMの¥DMAG¥NEWPROフォルダ以下に収録しています

¥UWS_SAMPLE：今回作成したサンプルアプリケーション

表1：含まれるコンポーネント

コンポーネント	含まれる製品	概要
UltraWebListBar	WebBars	Outlookライクなナビゲーションやグループの実装が可能なコンポーネント
UltraWebTabs	WebBars	複数のWebページの切り替えを可能にするタブコンポーネント
UltraWebToolBar	WebBars	テキスト入力とドロップダウンが実装可能なツールバーコンポーネント
UltraWebTree	WebNavigator	データバインドも可能なツリーコンポーネント
UltraWebMenu	WebNavigator	水平、垂直、ポップアップの実装が可能な階層メニューコンポーネント

を行なうことが可能です。

コンポーネントの使用を開始するには、コンポーネントをツールボックスに追加してフォームに配置します。

- ①[ツール] メニューから [ツールボックスのカスタマイズ] を選択
- ②「ツールボックスのカスタマイズ」ダイアログの「.NET Framework コンポーネント」タブを選択
- ③使用するコンポーネントのチェックボックスをチェックして (図1) [OK] ボタンをクリック

これで指定したコントロールのアイコンが、ツールボックス内に表示されます。

■ サンプルアプリケーションの作成

製品のコンポーネントをざっと見てみると、メニューやツリーなどを使用することで、かなりきれいなページが簡単に作れそうです。UltraWebTree コントロール (以下Treeコントロール) とUltraWebToolBarコントロール (以

下ToolBarコントロール)、それにUltraWebListBarコントロール (以下ListBarコントロール) を使って画像を表示するページを作成してみます。タイトルはWebAlbumとしましょう。

作成するWebAlbumには次のような機能を実装します。

- ①画像を階層的に配置しておき、Treeコントロールでエクスプローラのようにフォルダを階層表示する。そして、階層表示されたフォルダを開くと、開いたフォルダの内容 (画像) をListBarコントロールにサムネイル表示する。
- ②表示されているサムネイルをクリックすると、その画像を別のペインに大きく表示する。
- ③画像の名前を検索し、ヒットしたものをListBarコントロールにサムネイル表示する検索機能も実装する。

■ 準備とフォームデザイン

それでは、プロジェクトを新規に作成してアプリケーション作成を開始しましょう。

Visual Studio.NET (以下VS.NET) を立ち上げて、「スタートページ」で [新しいプロジェクト] ボタンをクリックします。

「新しいプロジェクト」ダイアログで [Visual Basicプロジェクト] - [ASP.NET Webアプリケーション] を選択して、「場所」に “http://localhost/UWS_Sample” と入力して [OK] ボタンをクリックしてください (図2)。Internet Information Services (以下IIS) のルートに仮想ディレクトリが作成されて、そこに必要な各ファイルが自動的に作成されます。

■ 画像ファイルの準備

はじめに、表示用の画像ファイルを先ほど作成した仮想ディレクトリ上の任意のフォルダに配置しておきます。

また、画像ファイルは表示用のファイルの他に、サムネイル用としてサイズの小さいものも用意します。これらの画像は、ファイル名の先頭に “S” を付けたファイル名で保存しておくことにします。

図1：使用するコンポーネントを指定する



図2：「新しいプロジェクト」ダイアログ

